

○枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例

昭和51年4月1日条例第13号

改正

昭和52年3月30日条例第12号

(中略)

令和5年6月30日条例第18号

枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例

(設置)

**第1条** 市民の体育及びスポーツの振興を図るために体育館等（以下「体育館」という。）を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
枕崎市立総合体育館	枕崎市中央町26番地
枕崎市武道館	枕崎市中央町21番地
枕崎市立弓道場	枕崎市中央町24番地

(職員)

**第2条** 体育館に館長その他必要な職員を置く。

(体育館の管理)

**第3条** 体育館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

2 指定管理者は、法令、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、誠実に体育館を管理しなければならない。

3 体育館の管理に関しては、この条例に定めのあるものを除くほか、枕崎市議会の議決に付すべき公の施設に関する条例（昭和39年枕崎市条例第2号）及び枕崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例（平成18年枕崎市条例第21号）の規定を適用する。

(指定管理者が行う業務)

**第3条の2** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(1) 体育館の利用の許可に関する業務

(2) 体育館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の維持管理に関する業務

(3) 体育館の運営に関する業務

(4) 体育館の利用料金（法第244条の2第8項に規定する料金をいう。以下同じ。）の決定、徴収及び減免に関する業務

(5) 前各号に掲げるもののほか、体育館の管理運営上市長が必要と認める業務  
(利用の許可)

**第4条** 体育館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。  
許可された事項を変更しようとするときもまた同様とする。

2 指定管理者は、前項の許可をするにあたり体育館の管理上必要な条件を付することができる。  
(利用制限及び取消し等)

**第5条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、体育館の利用を許可しない。

(1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。

(3) 施設等をき損するおそれがあると認められるとき。

(4) その他体育館の管理上支障があると認められるとき。

2 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可の条件を変更し、又は許可を取消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

(1) 前条の規定に基づき許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可の目的又は許可の条件に違反したとき。

(2) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

3 前項に基づく処分によつて利用者に損害が生じても、市はその賠償の責めを負わない。  
(目的外利用、権利譲渡等の禁止)

**第6条** 利用者は、体育館を許可目的以外に利用し、又は、その利用の権利を譲渡し、若しくは転貸することができない。  
(利用料金)

**第7条** 利用料金は、別表に定める額の範囲内とし、指定管理者が市長の承認を得て定める。

2 利用者は、前項に規定する利用料金の全額を指定管理者が指定する日までに前納しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要と認めるときは、利用料金を後納することができる。

3 指定管理者は、第1項の利用料金を徴収し、当該指定管理者の収入として収受するものとする。

4 既納の利用料金は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、この限りでない。

- (1) 災害その他利用者の責めに帰することができない理由により利用不能となつたとき。
- (2) 公益上又は管理上の必要により許可を取消したとき。
- (3) 利用者が、利用開始前3日までに許可の取消し及び変更を申し出た場合において、相当の理由があると認めたとき。

(利用料金の減免)

**第8条** 指定管理者は、アマチュアスポーツに利用する者が、入場料その他これに類するもの（以下「入場料等」という。）を徴収しない場合、その他特別な事由があると認める場合は、別に規則で定めるところにより、利用料金を免除し、又は減額することができる。

(施設等の原状変更禁止)

**第9条** 利用者は、施設等を模様替えし、又は設備を付加し、その他施設等の原状を変更してはならない。ただし、指定管理者の承認を受けた場合は、この限りでない。

- 2 前項ただし書の規定により、模様替えし、又は設備を付加した場合には、利用者は指定管理者の指示に従い、施設等の利用終了後直ちに原状に復さなければならない。

(損害賠償)

**第10条** 利用者が、施設等をき損し、又は損傷し、若しくは滅失したときは、利用者はそれによつて生じた損害を賠償しなければならない。

(入館の制限)

**第11条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれがある者及びこれらのおそれがある物品又は動物の類を携行する者
- (2) 公の秩序又は善良な風俗をみだし、及びみだすおそれがあると認められる者
- (3) その他建物又は設備等の管理上支障があると認められる者

(立入検査及び指示)

**第12条** 利用者は、体育館の職員が職務執行のために行う立入検査又は必要な指示に対してこれを拒むことはできない。

(委任)

**第13条** この条例の施行に関し、必要な事項は、規則で定める。

## 附 則

この条例の施行期日は、公布の日から起算して3箇月を超えない範囲内において規則で定める。

〔昭和51年4月26日規則第12号により、昭和51年4月27日から施行〕

**附 則**（昭和52年3月30日条例第12号）

この条例の施行期日は、公布の日から起算して1箇月を超えない範囲において規則で定める。〔昭和52年4月5日規則第11号により、昭和52年4月9日から施行〕

**附 則**（昭和57年3月18日条例第14号）

この条例は、昭和57年4月1日から施行する。

**附 則**（昭和57年10月13日条例第27号）

この条例の施行期日は、公布の日から起算して1箇月を超えない範囲において規則で定める。〔昭和57年10月22日規則第18号により、昭和57年11月1日から施行〕

**附 則**（昭和60年3月28日条例第18号）

- 1 この条例は、昭和60年4月1日から施行する。
- 2 改正後の枕崎市総合体育館等の設置及び管理に関する条例別表の規定は、この条例の施行の日以後の使用許可に係る使用料について適用し、同日前の使用許可に係る使用料については、なお従前の例による。

**附 則**（平成元年3月30日条例第17号抄）

- 1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。
  - 2 次の各号に掲げる規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用許可に係る使用料について適用し、施行日前の使用許可に係る使用料については、なお従前の例による。
- （8） 第13条の規定による改正後の枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例別表の規定

**附 則**（平成5年3月29日条例第28号）

この条例は、平成5年4月1日から施行する。

**附 則**（平成9年3月26日条例第13号）

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

**附 則**（平成9年3月26日条例第14号抄）

（施行日）

- 1 この条例は、平成9年4月1日から施行する。
- （経過措置）
- 2 次の各号に掲げる規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用許可に係る使用料について適用し、施行日前の使用許可に係る使用料については、なお従前の例による。

(14) 第19条の規定による改正後の枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例別表の規定

**附 則**（平成10年12月22日条例第31号）

この条例は、公布の日から施行する。

**附 則**（平成17年 9 月28日条例第25号）

この条例は、平成17年11月 7 日から施行する。

**附 則**（平成19年10月 2 日条例第27号）

この条例は、平成19年12月 1 日から施行する。

**附 則**（平成23年 3 月18日条例第 4 号）

この条例は、平成23年 4 月 1 日から施行する。

**附 則**（平成26年 3 月14日条例第 4 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この条例（第 9 条及び第18条の規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用許可等に係る使用料等について適用し、施行日前の使用許可等に係る使用料等については、なお従前の例による。

**附 則**（平成31年 3 月20日条例第 3 号抄）

（施行期日）

1 この条例は、平成31年10月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この条例（第 9 条及び第17条の規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の使用許可等に係る使用料等について適用し、施行日前の使用許可等に係る使用料等については、なお従前の例による。

**附 則**（令和 2 年12月16日条例第25号抄）

（施行期日）

1 この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の際現に効力を有する枕崎市教育委員会が行った処分、手続その他の行為又はこの条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に枕崎市教育委員会に対してなされた申請そ

の他の行為で、施行日以後この条例の規定により市長が管理し、及び執行することとなる事務に係るものは、施行日以後においては、市長が行った処分、手続その他の行為又は市長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

附 則（令和 3 年12月10日条例第20号）

（施行期日）

1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の日前に改正前の枕崎市運動場条例、枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例及び枕崎市海洋センターの設置及び管理に関する条例（以下「旧条例」という。）の規定により市長がした許可その他の行為又は旧条例の規定により市長に対してなされている許可の申請その他の行為は、改正後の枕崎市運動場条例、枕崎市立総合体育館等の設置及び管理に関する条例及び枕崎市海洋センターの設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）の相当規定により指定管理者がした許可その他の行為又は新条例の相当規定により指定管理者に対してなされた許可の申請その他の行為とみなす。

附 則（令和 4 年 3 月17日条例第 7 号）

この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 5 年 6 月30日条例第18号）

この条例は、公布の日から施行する。

別表（第 7 条関係）

1 総合体育館の占用利用料金及び会議室の利用料金

利用区分				利用時間	午前	午後	夜間
					8 時30分～正午	正午～17時	17時～22時
占用 利用	利用者が 入場料等 を徴収し ない場合	アマチュアスポー ツに利用する場合	学生・児童生徒	円 710	円 990	円 1,480	
			その他の団体	1,430	2,030	3,020	
		文化的催物に利用する場合（営利又は 宣伝を目的としない場合）			2,860	4,070	6,050
		その他の場合			8,580	12,210	18,310

利用者が 入場料等 を徴収す る場合	アマチュアスポーツに利用する場合	4,290	6,100	9,130
	文化的催物に利用する場合（営利又は 宣伝を目的としない場合）	8,580	12,210	18,310
	その他の場合	21,450	30,630	45,920
一部利用	会議室	270	380	550

#### 附記

（１） 利用者が、入場料を徴収しないが入場料に相当する金員を徴収したと認められるとき（会費を徴収する場合、会員制度により会員を招待する場合、商品等の売上高により招待券を発行する場合、その他これに準ずる場合）は、入場料等を徴収する場合とみなして利用料金を徴収する。

（２） 利用者が、入場料等を徴収する場合中、「その他の場合」の利用料金は、１日につき税込最高入場料に100を乗じた額を基本利用料金に加算して得た額とする。

ア 会員制により会費を徴収し、当該会員のみを入場させる催物の場合には、１月分の会費の額（毎月会費を徴収しないときは、１月分の会費に換算した額）を入場料とみなす。ただし、その金額が500円を超える場合は500円とする。

イ 商品等の売上げに対して入場券を発行（これに類する行為を含む。）して入場させる催物の場合には、入場券１枚を発行できる商品売上価格の10分の１に相当する金額を入場料とみなす。ただし、その金額が500円を超える場合は500円とし、50円に満たない場合は50円とする。

ウ 上記ア及びイの場合で、別に入場整理料等の名目で金額を徴収し、その金額が500円を超える場合には、当該入場整理料等の名目の金額をもつて入場料とみなす。

（３） 土曜日、日曜日又は国民の祝日に関する法律に規定する休日に利用する場合（利用者が入場料を徴収しない場合で、アマチュアスポーツに利用する場合を除く。）の利用料金は、当該基本利用料金に２割を乗じた額を加算して得た額とする。

（４） 利用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の利用料金は、基本利用料金に５割を乗じた額を加算して得た額とする。

（５） 許可時間を延長した場合の利用料金は、延長１時間（１時間未満の端数があるときは、１時間とする。以下同じ。）ごとに、その属する利用時間区分の利用料金に２割を乗じた額を加算して得た額とする。ただし、22時以後の利用については、延長１時間ごとに「夜間」

の利用時間区分の利用料金に5割を乗じた額（その額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）を加算して得た額とする。

- (6) この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

## 2 総合体育館の一部利用料金

団体 利用	種目	利用者区分	単位	利用料金（1 時間あたり）	備考	
	卓球		1 台	円	ラケット、球は除く	
		学生・児童生徒		30		
		社会人		60		
	バドミントン	学生・児童生徒	1 面	50	ラケット、シャトル	
		社会人		110	コックは除く	
	バレーボール	学生・児童生徒	1 面	110		
	バスケットボール	社会人		220		
	テニス	学生・児童生徒	1 面	110	ラケット、球は除く	
		社会人		220		
	体操	学生・児童生徒	1 面	50		
		社会人		110		
	剣道	学生・児童生徒	1 面	50		
	銃剣道	社会人		110		
	個人 利用	学生・児童生徒	1 人 1 時間あたり    20円			
		社会人	1 人 1 時間あたり    50円			

### 附記

- 1 利用者が枕崎市、南さつま市及び南九州市の住民でない場合の利用料金は、利用料金に5割を乗じて得た額を加算する。
- 2 利用時間に1時間未満の端数があるときは、その端数は1時間とみなす。
- 3 この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

## 3 総合体育館の附属設備等利用料金



種目		単位	利用料金	備考
放送施設		1 式	550円	マイク 2 本つき
折たたみ椅子		1 脚	11円	
長机		1 脚	22円	
冷暖房	卓球場	1 時間	4,400円	
	会議室	1 時間	330円	

附記

- 1 利用時間に 1 時間未満の端数があるときは、その端数は 1 時間とみなす。
- 2 この表の規定に基づき算定した利用料金の額に 10 円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。

4 武道館利用料金

	種目	利用者区分	単位	利用料金（1 時間当たり）	備考
団体 利用	柔道  剣道  銃剣道	学生・児童生徒	1 面	50円	
		雇用保険の被保険者		50円	
		社会人		110円	
個人 利用	学生・児童生徒	1 人 1 時間当たり    20円			
	雇用保険の被保険者	1 人 1 時間当たり    20円			
	社会人	1 人 1 時間当たり    50円			

附記

この表において、総合体育館の一部利用料金の附記の規定を準用する。

5 弓道場利用料金

団体利用	学生・児童生徒	1 時間あたり 50円
	社会人	1 時間あたり 110円
個人利用	学生・児童生徒	1 人 1 時間あたり 20円
	社会人	1 人 1 時間あたり 50円

附記

この表において、総合体育館の一部利用料金の附記の規定を準用する。

6 電灯等を利用した場合の利用料金

施設名		回路	利用料金
体育館	全照型	1 回路	1 時間当たり 120円
	部分照型	1 回路	1 時間当たり 80円
卓球場		1 回路	1 時間当たり 80円
武道館		1 回路	1 時間当たり 120円
弓道場		1 回路	1 時間当たり 30円
特別の設備、器具等を利用したときは、別に電気、ガス、水道使用の実費相当額を加算する。			

附記

- 1 利用時間に1時間未満の端数があるときは、その端数は、1時間とみなす。ただし、その端数が30分を超えないときは30分とみなし、その利用料金は、1時間当たりの利用料金の2分の1の額とする。
- 2 この表の規定に基づき算定した利用料金の額に10円未満の端数が生じたときは、その端数は切り捨てるものとする。